



株式会社ペッパーフードサービス

株式会社ペッパーフードサービス
代表取締役社長

一瀬健作

1972年生まれ。静岡を地盤にハンバーグレストランを展開するさわやか株式会社を経て、1999年ペッパーフードサービス入社。ペッパーランチ運営部長やCFO、副社長などを歴任し、2022年8月社長に就任。

株式会社ペッパーフードサービス
社外取締役

横田響子

株式会社コラボラボ(女性社長.net運営)代表取締役。15年以上にわたり女性活躍、協業、新規事業、柔軟な働き方をキーワードに事業を展開。大学客員准教授、各行政機関等の審議会、第三者委員会の委員も歴任。

「今、企業管理体制の強化・向上の観点から、女性や若手など多様な人材を社外取締役に登用する動きが顕著です。このような流れにお応えして、コラボラボでは幅広い人脈の中から女性社外取締役をご紹介しています。このコーナーでは、実際にコラボラボを通して女性社外取締役をご採用いただいた企業様のトップをお招きし、お話を伺います。」

今回のゲストは創業38期目を迎えるステーキレストランチェーン 株式会社ペッパーフードサービスの一瀬健作社長です。コラボラボ代表の横田響子は、こちらの社外取締役に2022年3月より就任しています。女性社外取締役の起用が、従来の取締役にどんな影響・変化を与えているのか一瀬社長にお聞きしました。

創業社長からCFOへ、
横田が見たサクセッションプラン

横田「私、横田は昨年より御社社外取締役に拜命しておりますが、ペッパーフードサービスが女性社外取締役を採用したきっかけと経緯についてお聞かせください。」

一瀬社長「弊社には、これまで社内・社外共に女性取締役がいませんでした。昨今のガバナンス強化で女性社外取締役の検討を始めた頃、コラボラボさんから社外取締役紹介サービスに関するご案内をいただいたのです。女性社外取締役の現状や、他社さんの採用状況などをお話しただけのこととお目にかかりました。創業者である

女性社外取締役の採用で役員が多様化し、取締役会が活発に

一瀬社長「その後、昨年8月の取締役会で前社長から辞任の話がありました。かねがね前社長は業績が回復してから経営を引き継ぎたいと話していましたが、コロナの環境下で「いきなり！ステーキ」を再生するための早めの英断だったと思います。」

横田「前社長の辞任には驚きました。きっかけとご自身で決断をし、意志を固められていました。それだけに、われわれもすぐに次のステージに移行できたのだと思います。ところで、一瀬社長は現在の取締役会の雰囲気をご存知ですか？」

一瀬社長「私の社長就任以降、以前よりも活発に意見が出るようになったと思います。横田さんが取締役会に参加されるようになった影響もあるでしょう。社内・社外取締役の方たちの刺激になっていると思います。横田「ありがとうございます。以前から役員の方たちが熱く議論されているとのことでしたが、私という新しい風が入ることで、それが加速したのであればうれしいです。」

一瀬社長「社外の取締役会の体勢も見直し、新役員が2名加わって若くなりました。これまでではトップダウンでスピードを重視してきましたが、社長交代により今までのデータや作り上げたものを見直して分析し、現場の声を聞きながらチーム力を重視



女性社外取締役導入により取締役会の質が上がったと感じています。

した経営に転換しました。」

横田「私が就任した時点で社内昇格の30代の取締役にいらっしゃいました。若いメンバー社員の昇格は、バックグラウンドや性別、年齢に関係なく、実力そのものを評価している証拠だと感じました。」

「取締役だけの会議が新設されたことです。常動ではない社外取締役が取りこぼしがちな情報を得たり、目線合わせができたりしています。また、毎週行われる経営会議にも参加できる体制にしていたらいいので、今上がっている議題がわかるほか、経営陣と従業員の方の意見のやり取りを見ることができて助かります。」

「外食チェーンとして必要なきめ細かな「女性ならではの感性」に大いなる期待」

横田「一瀬社長が女性社外取締役に期待すること、また現時点でその期待に私が応えられている部分があればお伺いしたいです。」

一瀬社長「やはり女性ならではの「女性目線」を期待しています。「いきなり！ステーキ」は男性のお客様が約8割ですが、それ以外の女性・家族層に向けたメニュー構成や、店舗作りの中での細かな部分のご意見をいただきたいと思っています。」

「実は、私自身も横田さんは就任後1年くらいは様子見をされるのではないかと思っていました。ところが最初の取締役会議から、消費者目線の中に女性の感性を入れたさまざまなご経験や今の時代が求めているものを提言いただいております。会議の質が上がったなど感じています。」

横田「最初の1〜2回くらいはおとなしめにしていただくつもりでしたが(笑)。」

社外取締役としてお役に立てることとは、外部からの目線ではどう見えるのかを客観的にお伝えすることだと思っています。内部にいると見えなかつたり、とられてしまつたりする部分を明確にし、補完したいと努力しています。」

「客観的で冷静な外部目線で
忌憚のない意見が欲しい」

横田「最後に、私、もしくはほかの社外取締役の役割に期待があればお伺いします。」

一瀬社長「私は、経営者としてはまだ1年目の新人です。社内で物事を決める際、いろいろな意見が出ますが、最終決定は私がします。しかし、「果たして自分は正しい判断ができていいのか？」という逡巡もあります。従業員たちも「自分は違う意見だけれど、経営者がそう言うのなら……」と賛同していることもあると思います。そんな時に、社外取締役の方にはいろいろな考え方やアドバイスを忌憚なく言っていただきたい。それをお聞きして、私自身も柔軟に考えたいと思っています。」

横田「しっかりと頑張ります。」

経営会議に出たり、従業員さんのやり取りを見たりしていると、「いきなり！ステーキ」がこの非常に厳しい環境下で頑張っておられる様子がひしひしと伝わってきます。あまたあるステーキ屋さんの中でも「いきなり！ステーキ」が品質的にも価格的にも踏ん張っているところを、もっと消費者・株主の方に知っていただき、「いきなり！ステーキ」に足を運んでいただきたいなと思っています。微力ながらそういった発信も続けていきたいと思っています。本日はありがとうございます。」



「いきなり！ステーキ」が品質的にも価格的にも踏ん張っていることをもっと知っていただきたい！

私の父と当時副社長の私が同席しました。いろいろお話を伺い意見交換した後、ではどういう方を女性社外取締役に紹介したいかかと検討する中で前社長から「横田さんに来てもらいたい」という話が出たのです。「横田さんなら取締役として率直な意見を言ってもらえるのではないかと。私も大賛成でした。ぜひ検討してもらいたい」と、打診させていただきました。」

横田「ありがとうございます。こちらに伺う前に前社長のご本や資料に目を通してはいましたが、最初の面会は名物社長と、当時CFOだった一瀬社長がいらつしやりました。前社長は79歳とは思えないほどパワフルでアイデアアフルな方。その年齢であればいずれ新社長へ経営を引き継ぐ必要がありますが、パワフルな創業社長と冷静で数字やデータに強く穏やかな健作社長の異なる強みを拝見して、後継候補の存在に安心しました。その後、追加で面談のご対応を頂き、「私は言いたいことを言うタイプですが大丈夫でしょうか？」とも申し上げ、「どうぞ言ってください」ということでしたので熟慮の上お受けしました。」

株式会社ペッパーフードサービス 企業概要



いきなりステーキ
IKINARI STEAK

- ・1970年設立、創業38期目
 - ・主力事業：いきなり！ステーキ、レストラン、商品販売
 - ・店舗数：国内195店舗
 - ・従業員数：2627名
- ※2023年5月10日時点

一瀬邦夫氏がキッチンくいを開店。2013年には東京・銀座に立ち食い盛り売りの厚切りステーキを提供する新業態「いきなり！ステーキ」を開店。積極的に全国展開を進め、2019年には500店舗まで増やす。2022年に創業社長の一瀬邦夫氏から、息子であり当時副社長であった健作氏に社長交代。「食を通じて、多くの人に健康で幸せになっていただきたい。」そんな店づくりを考え、創業者の「正笑」の理念をもとに常に品質にこだわりながらよりリーズナブルな価格で食の提供を行う。

株式会社コラボラボ
日本最大級の女性経営者ネットワーク「女性社長.net」を運営。女性社長のネットワークを生かしたビジネスプロデュース・人材コーディネートを展開。

【対談動画公開中】
今回の対談は動画でも公開しております。動画では、記事に掲載しきれなかった「社長交代」や「ペッパーフードサービス社の営業戦略や今後の方向性」についてご覧いただけます。また、女性社外取締役を導入した企業の代表と女性社外取締役の対談を今後継続して配信予定です。お楽しみに。

※対談へご協力いただける企業様募集。ご興味のある企業様はコラボラボの社外取締役紹介サービスお問い合わせよりご連絡ください。